問い合わせ: エネルギー・環境・地質研究所 電話: 011-747-3525



気候変動の影響評価と適応策導入手法の開発

背景

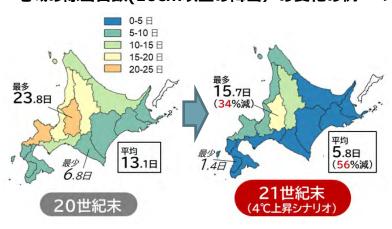
北海道において気候変動による雪などの変化は重要であり、その影響評価と適応策推進は喫緊の課題である。

成 果

1

雪の変化に伴う影響を予測

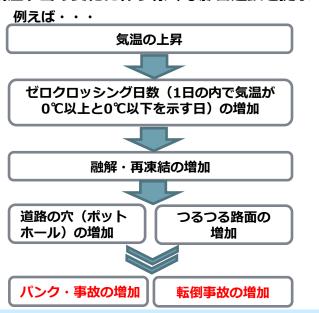
地域の除雪日数(10cm以上の降雪) の変化の例



減少するが、内陸部等 は減少度が小さい。

2 インパクトチェーンの作成

気温や雪の変化に伴う様々な影響連鎖を提示



道民への啓発用に作成した動画 「未来の天気予報 北海道2100冬」から抜粋

3 適応策導入手法の開発

セミナーやワークショップを活用し 適応策の導入手法を開発



地域で採用する適応策の選択肢を示した「適応策 カード」を用いて、それらの導入時期等を検討

期待される効果

適応策への住民の理解・合意形成を進めることで気候変動に応じた地域づくりに貢献する。

共同研究機関:農業・食品産業技術総合研究機構、北海道大学、帯広畜産大学、東北工業大学、国立環境研究所、(協力機関:日本気象協会)